

阪大Eコース リーダー型総合診療医養成コース

多職種連携型の高齢者コホート研究への参加および、最先端の医療から社会学まで高齢者医療に関連する幅広い教育を通じて超高齢社会における医学的問題に対して総合診療的観点から研究を行い、チーム医療に際して他職種のプロフェッショナリズムを理解できる地域医療のリーダーとなる総合診療医を養成するコースです。

対象者： 大学院生、大学院修了者

修業年限： 1~4年(受講生の身分による、講義の履修と実習期間は離れてもよい)

- 概要：**
- eラーニング講義からお好きな講義を選択し受講できます。
 - 関西健康長寿研究(SONIC研究)に参加し、老年医学等に関する成果発表を行います。
 - 市中病院(介護施設含む)における見学を含めた実習に参加することも可能です。
 - 所属大学院の卒業要件単位の履修を修了要件とします(既に博士号取得の者は不要)。

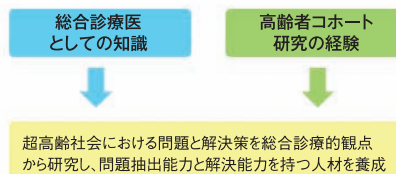
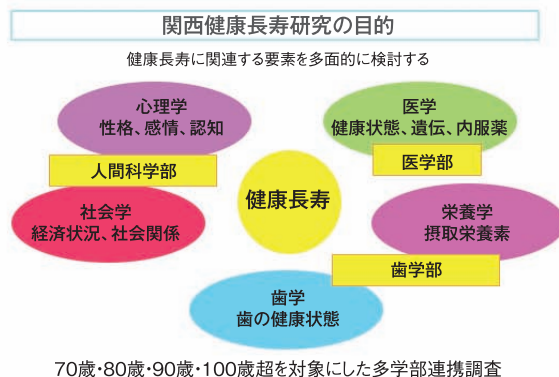
阪大Eコース：リーダー型総合診療医養成コース

講義(10講義)

在宅医・総合診療医としての知識習得
阪大Cコースの老年医学・在宅医療学・緩和医療学講義のうち、
老年医学・在宅医療学関連の講義を単位数分履修

実習(30時間)老年医学実習:

多職種連携の実地調査・実地臨床
関西健康長寿研究(SONIC研究)に参加し、レポート提出と研究成果発表をおこなう。市中病院老年内科・在宅医療機関などで実習。



コースの 特徴

- 特徴1: 地域高齢者のコホート研究は医学科、保健学科、歯学科、人間科学科の合同研究であり、調査を通じてチーム医療に重要な他職種の視点・考え方や業務を理解することが出来ます。
- 特徴2: 多くの受講生は大阪大学老年・総合内科の大学院に所属しながらコホート研究に参加しています。
- 特徴3: コホート調査の豊富なデータを用いて博士論文を作成する事で、大阪大学大学院の博士号を取得します。
- 特徴4: 大阪大学各診療科によるe-ラーニングで、高齢者医療に関する多領域のトピックスを学べます。
- 特徴5: 大学院生の場合、1年目は老年内科の病棟医として高齢者医療を学びつつ、コホート調査に参加します。2年目以降は大学院生としてコホート調査・研究を行いながら、外来業務などで高齢者臨床に携わります。

受講の メリット

- 大阪大学の大学院生として受講した場合、コホート調査のデータで大阪大学の博士(医学)を取得できます。
- コホート調査のデータは豊富であり、様々な視点から研究を行うことが可能です。
- eラーニング講義により、いつでもどこでも各種診療科の講師による各種テーマの講義を受講出来ます。
- 老年内科カンファレンスを通じて高齢者を総合的にとらえマネジメントする視点を養えます。
- 大阪大学老年・総合内科の大学院生として臨床を続けることで老年病専門医が取得できます。
- 2年目以降の大学院生活では、主に外来勤務などで臨床力を維持しつつ、臨床研究(希望すれば基礎研究も可能)を行いますので、緊急呼び出しの無い、時間を自由にマネジメントする生活を送ることができます。



教員より



少しでも興味をもった方は、是非とも御連絡をください!

Eコース担当:特任助教 小黒 亮輔

関西長寿研究(SONIC)研究は高齢者の健康長寿に関する因子を明らかにすべく、保健学科、歯学部、人間科学部と合同で行っている住民調査で、70歳、80歳、90歳の高齢者約500人を3年ごとに追跡しています。70歳、80歳については既に2回目の調査も修了していますので縦断研究を行う為のデータも蓄積されており、みなさんが興味を持った視点から研究を行い、博士論文を作成する事が可能です。多くの受講生は大学院生として研究を行いつつ、外来や病棟診療に携わり、老年内科カンファレンスでは指導医のもと高齢者を総合的にマネジメントする視点を養っています。長い医師生活の中で、大学院生として研究を行う生活は、きっとみなさんの貴重な経験になると思いますので、興味を持った方は、話を聞くだけでも良いので是非とも御連絡を下さい。ここでは伝えきれない魅力をお伝えしますよ!



受講生からのコメント



高齢者医療や臨床研究に興味があれば、ぜひ受講してください!

Eコース受講生:老年・総合内科学 平尾 聡美(平成26年度受講開始)

平成26年度より大阪大学老年内科の大学院生として受講しています。大学院1年目は附属病院の老年高血圧内科で病棟担当医として勤務しながら関西長寿研究に参加していました。平成27年度からは毎週月曜日のカンファレンスに参加したり、関連病院の外来勤務をする以外は、研究に携わる生活を送っています。住民調査は週末に行われますので、平日は昨年度に収集したデータをまとめたり、夏以降に開始される今年度の調査の準備をしています。大学院生としての時間は比較的自由がききますので、興味のある事について勉強をする時間が十分にとれるのはもちろん、趣味活動などの時間も取ることが出来るので楽しい毎日を送っています。